

## 大阪府における歯科口腔保健の課題

項目	課題	課題についてのご意見 例 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 課題が生じる要因</li> <li>• 左記以外に課題となっている事項</li> <li>• 課題を解決するに当たって実施すべき取り組み</li> <li>• 課題を解決するに当たって、貴団体で取り組んでいること</li> </ul>
乳幼児期	<p>○乳幼児のむし歯のない者の割合は改善傾向にあるが、3歳児におけるむし歯のない者の割合は全国値よりも低い。</p> <p>○3歳児におけるむし歯のない者の割合の地域間の差（80%～85%）は、平成23年度（74～82%）と比較すると差は縮まっているが、依然約5%の差が生じている。</p>	
学齢期	<p>○高校生（16歳）におけるむし歯を有する者の割合は、減少傾向にあるものの依然50%を超えている。</p>	
成人期・高齢期	<p>○40歳、60歳ともむし歯の罹患状況が悪化している。 （ほとんどの地域でむし歯の罹患状況が悪化している）</p> <p>○40歳、60歳とも歯周病の罹患状況が悪化している。 （ほとんどの地域で歯周病の罹患状況が悪化している）</p>	
要介護者	<p>○介護老人保健施設における定期的な歯科健診の実施率が低い。</p>	
障がい児者	<p>○障がい児者入所施設における定期的な歯科健診の実施率が低い。</p>	